L2plus スイッチバージョンアップ手順書

CentreCOM 84/83 シリーズ

アライドテレシス株式会社

目次

1	ファームウェアインストーラーについて	3
	1.1 ファームウェアインストーラーの動作	3
	1.2 ダウンロードモジュール	3
	1.3 ファームウェアインストーラーの動作環境	4
2	ファームウェアインストーラーのインストール	4
2	2.1 アンインストール	4
2	バージョンアップ	5
3	31 ダウンロードモジュールの解凍	5
	3.2 通信の確認	5
	3.3 バージョンアップの実行	6
4	トラブルシューティング	13
-	4.1 ファームウェアファイルの転送に失敗する	13
	ご注意	14
	商標について	14
	マニュアルバージョン	14

1 ファームウェアインストーラーについて

1.1 ファームウェアインストーラーの動作

ファームウェアインストーラーは、ファームウェアやファームウェアに付随するファイルを 84/83 シ リーズ L2plus スイッチ (以下「L2plus スイッチ」) にインストールするツールです。ファームウェア をバージョンアップするときなどに使用し、L2plus スイッチに対する以下の操作を自動的に行います。

- ダウンロード済みのファームウェア、パッチ、ヘルプの削除
- ファームウェア、パッチ、ヘルプなどのダウンロード
- ファームウェアの有効化 (enable)
- パッチ、ヘルプなどの適用
- L2plus スイッチの再起動
- ログファイルの出力 (YYMMDD_hhmmss.log)



図 1.1.1 ファームウェアインストーラーの動作

最新のファームウェアインストーラーは、弊社 Web ページからダウンロードできます。

http://www.allied-telesis.co.jp/

1.2 ダウンロードモジュール

ダウンロードモジュールは、以下のファイルをセットにしたものです。「swit □□□□□ .exe」のような名前の自己解凍ファイルで提供されます(□で表記した部分は機種、バージョン、パッチに依存します。 また、リリースによっては一部のファイルが提供されないことがあります)。

- ファームウェアファイル(84000 s-.rez、83000 s-.rez ファームウェアバージョン2.6.2以前の ファームウェアファイル名は、84s-000 .rez、83s-000 .rez)
- パッチファイル (84000-00.paz、83000-00.paz)
- ヘルプファイル (help.hlp)
- バージョンアップ情報ファイル (swthinf.ini)

最新のダウンロードモジュールは、弊社 Web ページからダウンロードできます。

```
http://www.allied-telesis.co.jp/
```

1.3 ファームウェアインストーラーの動作環境

ファームウェアインストーラーは、日本語版の下記の OS で動作いたします。

- Windows[®] 98、Windows 98 Second Edition、Windows Me
- Windows NT[®] 4.0, Windows 2000 Professional, Windows XP Home Edition, Windows XP Professional

ファームウェアインストーラーは、下記の L2plus スイッチに適用可能です(L2plus スイッチへの ファームウェア、パッチ、ヘルプのダウンロードは、必ず Ver.1.9.3 以降のファームウェアインストー ラーをご使用ください)。

- 8400 シリーズ
- 8300 シリーズ

2 ファームウェアインストーラーのインストール

- 1ファームウェアインストーラーの自己解凍ファイルを用意し、コンピューター上の適当な場所に 置いてください。自己解凍ファイルをダブルクリックしてください。
- **2**次のダイアログボックスが現れます。解凍先のフォルダーを指定して、「OK」をクリックしてください。ここでは、解凍先として「C:¥SETUPTOOL」を仮定します。

WinSFX32M V2.80.1.8	×
インストールするフォルダ(<u>D</u>):	
C:¥SETUPTOOL	参照(<u>B</u>)
 □ スタートメニュー(ご登録(S) □ 関連付け(A) 	
Соколу	キャンセル(Q)

図 2.0.1 解凍先のフォルダーを指定

3 次のようなファイルが解凍されます。

SETUPTOC)L						- IIX
ファイル(E)	編集(E)	表示⊙	お気に入り(シ ツール	D NH)(H)	
←戻る・	⇒ - E	风検索	追フォルダ	③履歴	階階	X b	.
アドレス(D) [SETUP1	TOOL			•	<i>∂</i> 移動	」リンク »
fwinstexe)	md5.d) III rea	dme.txt				
個のオブジェク	۱۲		63	п кв	271	コンピュータ	1

図 2.0.2 解凍されたファイル

2.1 アンインストール

ファームウェアインストーラーを解凍したフォルダーを削除してください。前述の例では、 「C:¥SETUPTOOL」です。

3 バージョンアップ

3.1 ダウンロードモジュールの解凍

- **1** 最新のダウンロードモジュールを用意し、コンピューター上の適当な場所に置いてください。 ダウンロードモジュールをダブルクリックしてください。
- 2次のダイアログボックスが現れます。解凍先のフォルダーを指定して、「OK」をクリックしてください。ここでは、解凍先としてファームウェアインストーラーと同じフォルダー「C:¥SETUPTOOL」を仮定します。



図 3.1.1 解凍先のフォルダーを指定

3.2 通信の確認

L2plus スイッチにファームウェアなどをダウンロードするためには、ファームウェアインストーラー を実行するコンピューターと、L2plus スイッチが IP で通信できなければなりません。通信ができない 場合は、次のようにしてコンピューターと L2plus スイッチが通信できるように設定してください。以 下の説明は、次のような仮定で行います。ご使用の L2plus スイッチに合わせて適宜設定してください。

- L2plus スイッチ(default VLAN)の IP アドレス / サブネットマスク「192.168.10.1/255.255.255.0」
- ファームウェアインストーラーを実行しているコンピューターのIPアドレス/サブネットマスク「192.168.10.100/255.255.255.0」
- コンソールターミナルから L2plus スイッチに Manager レベルでログインし (デフォルトのユー ザー名は「manager」)、次のコマンドを実行してください。

manager > enable ip Enter manager > add ip interface=vlan1 ipaddress=192.168.10.1 mask=255.255.255.0 Enter

2 Windows 98/Me の場合は MS-DOS プロンプトから、Windows XP、Windows 2000、Windows NT の場合はコマンドプロンプトから、L2plus スイッチに対して Ping を実行します。「Reply from 192.168.10.1」のように表示されれば通信が可能です。

C:¥> ping 192.168.10.1 Enter

3.3 バージョンアップの実行

重要:バージョンアップは、絶対に運用中には行わないでください。万が一、L2plus スイッ チ運用中に実行した場合、バージョンアップに失敗するだけでなく、L2plus スイッチが起動 できなくなる可能性があります。

重要:L2plusスイッチへのファームウェア、パッチ、ヘルプのダウンロードは、必ず Ver.1.9.3 以降のファームウェアインストーラーをご使用ください。

Ver.2.6.1 PL0 へのバージョンアップを例にして、手順を説明します。実際の手順では、お客様がご使用になるバージョン番号に読み替えて、バージョンアップを実行してください。

1 CONSOLE ポート (RS-232) から、または Telnet によって、L2plus スイッチにログインしてい る場合は、ログアウトしてください (ログインした状態で以下の手順を実行すると、バージョン アップに失敗することがあります)。

また、ファームウェアインストーラーは、IP アドレスがひとつのみ割り当てられたコンピュー ターで実行してください(コンピューターに複数のIP アドレスが割り当てられていると、ファー ムウェアの転送に失敗することがあります)。

2「fwinst.exe」のアイコンをダブルクリックしてください。



図 3.3.1 ファームウェアインストーラーの起動

3「参照」をクリックしてください。

🛲 製品の選択	×
ファームウエアのバージョンアップ?	を行います。
バージョンアップ情報ファイルを指え	定して下さい。
	(美昭)
Shirth Poster of Foott	
次へ	終了

図 3.3.2

4 該当機種のバージョンアップ情報ファイル(ini)を選択して、「開く」をクリックしてください。 下記では、バージョンアップ情報ファイルとして「swthinf.ini」を選択しています。

ファイルを開く					?×
ファイルの場所型:	SETUPTOOL		-	+ 🖻 💣 📰	
で 展歴 デスクトップ マイ エンピュータ マイ ネットワーク	swthinf.ini				
WW W39099 (8	ファイル名(N):	swthinf.ini	_	•	THK W
	ファイルの種類(工):	「情報ファイル (*.ini)		-	キャンセル

図 3.3.3 バージョンアップ情報ファイルの指定

5「次へ」をクリックしてください。

一製品の選択 ファームウエアのバージョンアップを行います。 バージョンアップ情報ファイルを指定して下さい。
ファイル C-¥SETUPTOOL¥swthinf.ini 参照
<u> </u>

6 ダイアログボックスの内容(インストールされるバージョン)を確認し、「次へ」をクリックしてください。

🛲 インストール内容		×
このフ [.] のリリー 重す。	ァームウエアインストーラは、ファ スファイル84s-261.rez の	ァームウエアVer.2.6.1 Dライセンスを有効こし
ファームウエアのインス 行しているPCと、 由して通信できる	トールを始める前に、この バーションアップ対象の製 ちように設定をしてから	Dアフツケーションを実 品がEthernetを経 お使い下さい。
戻る	<u> </u>	キャンセル

図 3.3.5 バージョンの確認

7「IP ネットワーク」を選択し、バージョンアップの「対象機器の IP アドレス」を入力して、「OK」 をクリックしてください。^{*1}

🛲 インストール方法の選択	×
対象機器を制御する為の方法を選択して	下さい。
制御方法 ④ IPネットワーク経由	
◎ シリアルポート経由	設定
対象機器のIP7トシス: 192.168.10.	1
戻る OK	キャンセル

図 3.3.6 L2plus スイッチの IP アドレスの入力

8 ユーザー「manager」のパスワード^{*2}を入力し、「OK」をクリックしてください。

一 口ゲイン	X
ロゲインします manager権都 ロゲインして下	。 良以上の権限を持つアカウントで さい。
ユーザ名:	manager
パ*スワー ト∜	*****
OK	キャンセル

図 3.3.7 ログイン

*2 ユーザー名「manager」の初期パスワードは「friend」です。

^{*1} 誤ってファームウェアを消去し、さらに電源のオフ / オンまたは「restart reboot」コマンドによ る再起動を行ってしまった場合は、「シリアルポート経由」を選択してください。ファームウェ アが存在しない状態で、L2plus スイッチを起動すると BootROM モードとなり、Telnet は使用で きません (tftp はサポート)。

9 バージョンアップが開始されます。ダイアログボックスの上段に進行状況の概要、テキストボックスに詳細なログが表示され、「情報」メッセージボックスにより実行中のコマンドが完了するまでの予想待ち時間が表示されます。ログは、ファームウェアインストーラーがインストールされているフォルダーに(ここでは¥SETUPTOOL)、020625_121234.logのようなファイル名で保存されます。

🛲 インストール	以状況	×	
	現在実行中のコマンド		
	2.古しいファームウエアファイルの削除		
	3.ファームウェアファイルの転送	—— ' 语 華版	×
	4.77-4.717の有効11 5.9ステムの再起動	ただいまファイルの書き込 この処理は数分かかる場	み準備中です。しばらくお待ちください。 合があります。
		開始時間:17:28:11	予想待ち時間:約7分
Manager > a	act flash comp		
Info (103126 DO NOT res	60): Flash compacting start the router until compaction is	s completed.	
Manager >			
•			
		終了	

図 3.3.8 インストール状況

重要:手順9が実行されている間は(数分かかります)、絶対にL2plusスイッチの電源をオフにしたり、再起動しないでください。電源のオフや再起動を実行すると、フラッシュメモリー上のファイルシステムが破壊されることがあります(設定ファイルなどの重要なファイルが失われます)。

10 Windows XP (SP2) をご使用の場合で、下記のダイアログボックスが表示されたら、ただちに 「ブロックを解除する」をクリックしてください。^{*3}



図 3.3.9 ファイアウォールからの警告

^{*3} 図 3.3.9 のダイアログボックスが表示されている間、ファイアウォールは「3. ファームウェアファ イルの転送」をブロックしています。一定時間が経過すると、タイムアウトによりファームウェ アファイルの転送は失敗します。

図 3.3.9 のダイアログボックスに続いて、次のようなメッセージが表示された場合、ファームウェ アのバージョンアップは失敗です。「OK」をクリックすると、ファームウェアインストーラーが 終了しますので、図 3.3.9 の「ブロックを解除する」をクリックして、手順 2 (p.6)から再実行 してください。なお、バージョンアップが完了するまで^{*4}、L2plus スイッチの電源オフや再起動 を行わないでください。



 「ファームウェアの有効化」まで完了した時点で、L2plus スイッチを再起動するか否か問われま すので、「はい」をクリックしてください。「いいえ」をクリックした場合、L2plus スイッチは再 起動しません(ファームウェアインストーラーを終了した後、L2plus スイッチの電源のオフ / オ ン、または restart reboot コマンドを実行してください)。

インストール	完了
•	下記ファイルの転送、及びライセンスの有効化が 完了しました。
	84s-261.rez help.hlp
	最後に再起動しますか? インストールしたファームウエアは再起動後に 有効となります。「いいえ"を選択した場合には、 手動で"restart reboot"コマンドを実行して下さい。

図 3.3.11 再起動の確認

12「OK」をクリックしてください。

情報	X	
•	バージョンアップが完了しました。	
	OK	
図 3.3.12		

^{*4} この時点で、すでにファームウェアファイルは削除されています。電源オフや再起動を行ってし まった場合は、手順7(p.8)で「シリアルポート経由」を選択してください。

13「終了」をクリックしてください。

- インストール状況				
現在実行中のコマンド				
1.ロゲイン				
2.古し、ファームウェアファイルの肖川除				
3.ファームウェアファイルの転送				
4.7ァームワエアの有効化				
Manager > ena rel=84s-261.rez num=2.65542 pass=446524C				
Info (1049261): Release licence added to dynamic list, wait				
Manager > Info (1049264): Write of release licence file completed OK.				
Manager > del inst=pref				
Info (1049003): Operation successful.				
Manager > set inst=pref rel=84s-261.rez				
Info (1049003): Operation successful.				
Manager > restart reb				
۲ <u>۲</u>				
<u>終了</u>				

図 3.3.13 ファームウェアインストーラーの終了

14「はい」をクリックしてください。

確認	1
終了してもよろしいですか?	

図 3.3.14

15 以上でファームウェアのバージョンアップは終了です。L2plus スイッチの再起動後、ハイパー ターミナルや Telnet でログインし、SHOW SYSTEM コマンドを実行すると、Software Version の 項でファームウェアのバージョンを確認することができます。

```
Manager > show system Enter
Switch System Status
                                         Time 10:35:07 Date 06-Apr-2004.
Board ID Bay Board Name
                                               Rev Serial number
   . . . . . . . . . . . . .
                   -----
Base 137 8424XL
CPU
Switching Ch
                                         A1
                                                      0053644030300257
                                                 12
                 Switching Chip
                                                 B0
Fan 211 AT-FAN02
                                                A1
                                                      0123456789ABCDEF
_____
Memory - DRAM : 32768 kB FLASH : 7168 kB
            _____
SysDescription
CentreCOM 8424XL <u>version 2.6.1-00 25-Mar-2004</u> ←現在のバージョン
SysContact
SysLocation
SysName
SysUpTime
4589894 ( 12:44:58 )
Boot Image : 84xl.fbr size 1031492 09-Jan-2004
Software Version: <u>2.6.1-00 25-Mar-2004</u> ←現在のバージョン
Release Version : <u>2.6.1-00 25-Mar-2004</u> ←リリースバージョン
Release built : B02 (Mar 25 2004 at 18:00:13)
Patch Installed : NONE
Territory : japan
Help File : help.hlp
Main PSU: OnFanModule: ExistFan1: NormalJ.5V: Normal3.3V: Normal1.8V(CPU): Normal1.8V(Phy2): Normal1.2V(Sw): NormalRPS: Normalremperature: Normal
Configuration
Boot configuration file: kumanomi.cfg (exists)
Current configuration: kumanomi.cfg
Security Mode : Disabled
Warning (2048284): No patches found.
```

図 3.3.15 SHOW SYSTEMの表示例

4 トラブルシューティング

4.1 ファームウェアファイルの転送に失敗する

現象

図 4.1.1 のメッセージが常に表示され、ファームウェアファイルの転送に失敗する。*5

転送エラ	
8	TFTPサーバからの応答がありません。
図 4.1.1	バージョンアップの失敗

原因

バージョンアップ対象の製品が tftp プロトコルを使用して、ファームウェアインストーラー (fwinst) からファームウェアファイルを取得しようとしましたが、Windows XP のファイア ウォールによって tftp プロトコルがブロックされています。

対策

「コントロールパネル」→「Windows ファイアウォール」^{*6}をダブルクリックしてください。 「例外」タブをクリックしてください。

図 4.1.2 のように「fwinst」にチェックマークを入れ、「OK」ボタンをクリックしてください。

🗃 Windows ファイアウォール	×
全般 例外 詳細設定	12
入力方向のネットワーク接続は、下で選択されたプログラムおよびサービスのためのものを除き、 Windows ファイアウォールでブロックされています。例外として追加することにより、プログラムによって は動作がよくなる場合もありますが、セキュリティの危険が増加する可能性があります。 プログラムおよびサービス(P)	
2前	
I winst	
₽ Ptftp32 for Windows	
ロ UPnP フレームワーク	
☑ yappa – yet another petit proxy agent	
ロファイルとプリンタの共有	
▼ファイルメーカー Pro	
☑ リモート アシスタンス	
ロリモート デスクトップ	
プログラムの追加(R) ボートの追加(Q) 編集(E) 削除(Q)	
✓ Windows ファイアウォールによるプログラムのブロック時に通知を表示する(N)	
例外を許可することの危険の詳細を表示します。	
OK 2 **>tz/	5

図 4.1.2 fwinst のブロックを解除する

^{*5} 図 3.3.9 (p.9) のダイアログボックスで「ブロックする」をクリックすると、この状況に陥ります。

^{*6 「}コントロールパネル」がカテゴリー表示になっている場合は、「コントロールパネル」→「セキュリティセンター」→「Windows ファイアウォール」のように進んでください。

ご注意

本書に関する著作権等の知的財産権は、アライドテレシス株式会社(弊社)の親会社であるアライド テレシスホールディングス株式会社が所有しています。 アライドテレシスホールディングス株式会社の同意を得ることなく、本書の全体または一部をコピー または転載しないでください。 弊社は、予告なく本書の全体または一部を修正・改訂することがあります。 また、弊社は改良のため製品の仕様を予告なく変更することがあります。 ©2004-2006 アライドテレシスホールディングス株式会社

商標について

CentreCOM は、アライドテレシスホールディングス株式会社の登録商標です。

Windows、MS-DOS、Windows NT は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における 登録商標です。

その他、この文書に掲載しているソフトウエアおよび周辺機器の名称は各メーカーの商標または登録 商標です。

マニュアルバージョン

2006年8月7日	Rev.E	ファームウェアのファイル名変更
2005年5月2日	Rev.D	8300 シリーズの記述追加
2005年3月3日	Rev.C	Windows XP SP2 対応
2004年7月20日	Rev.B	fwis-v196.exe
2004年4月7日	Rev.A	初版(84)、fwis-v193.exe